

# 北海道は活火山とカルデラ湖で成立っている

北海道ガイドテキスト/J エコツアー(株)



# 《北海道は火山だらけ・カルデラ湖だらけで北海道は森と湖による景観が素晴らしく温泉が多い観光地》

## ・北海道火山の紹介リスト

旭岳、羅臼岳、知床硫黄山、利尻山、羊蹄山、駒ヶ岳、樽前山、十勝岳、有珠山、アトサヌプリ、雌阿寒岳、恵庭岳、倶多楽(登別)、恵山、天頂山

## ・そのうち活火山は

北海道には、現在31の活火山(北方領土の11火山を含む)があります。このうち、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、アトサヌプリ、大雪山、倶多楽、恵山の9つの活動的な火山

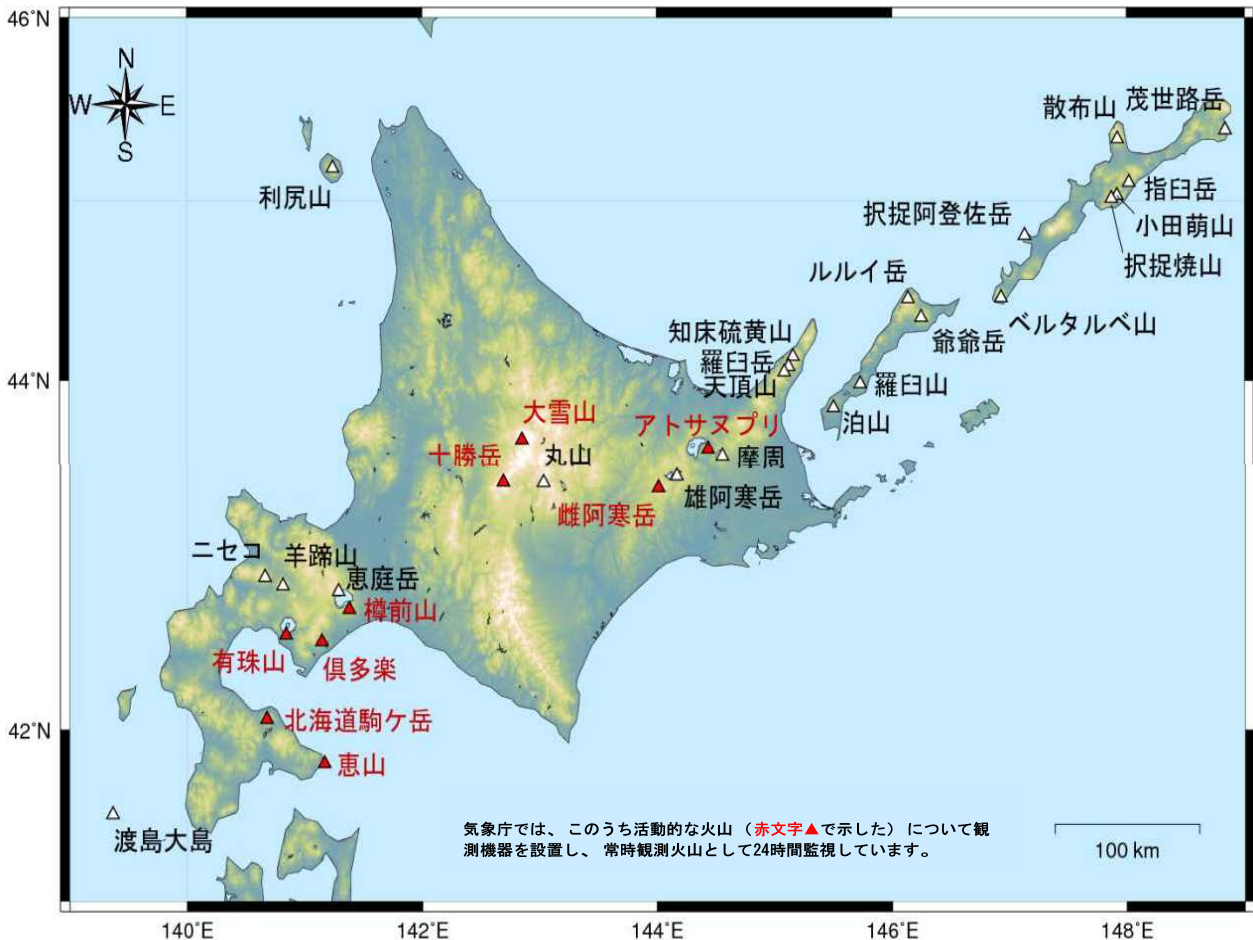
※その火山で湖カルデラ湖は ・ジオパークとの出来た繋がりや・・・国立公園との場所的な比較で見ると・・・温泉との関係は・・・のつながりで観光地を考える

## 北海道の活火山

北海道には、現在31の活火山(北方領土の11火山を含む)があります。

このうち、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、アトサヌプリ、大雪山、倶多楽、恵山の9つの活動的な火山について、過去の噴火活動の履歴や現在の活動状況などについて紹介します。

札幌管区気象台では、これらの9火山について観測機器を設置し、常時観測火山として24時間体制で火山活動を監視しています。



【活火山とは、「過去およそ1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」をいいます。】

# 雌阿寒岳

Meakandake(1499m)



阿寒カルデラの南西部に位置し、数万年前から活動を開始した火山で、8個の小型火山体が集まってできています。周辺には阿寒湖やオンネトーがあり、針葉樹の深い森に囲まれた自然豊かなところです。

歴史時代の噴火は小規模なものばかりですが、1万2千年前には爆発的な噴火が頻発し、火砕流が現在の阿寒湖畔近くまで達するなど、400年ほど前までは規模の大きな噴火を繰り返しました。最近では2008年11月にごく小さな噴火が発生しています。

雌阿寒岳の歴史の中で記録に残る噴火は1955年から始まります。

1955～1966年、1988年、1996年、1998年、2006年、そして2008年に発生し周辺に少量の火山灰を降らせるごく小さな噴火を繰り返しています。



2008年(平成20年)11月28日  
南東上空からみた雌阿寒岳の噴煙

2008年11月18日及び28日～29日にかけて、ポンマチネシリ96-1火口及び同第4火口で、ごく小さな噴火が発生しました。

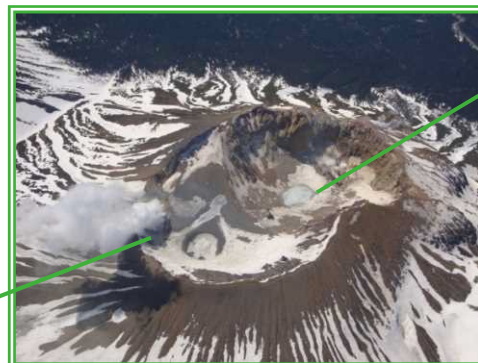
火山灰は、18日の噴火では火口の南東側数百mの範囲に、28日～29日の噴火では火口周辺の全方向に広がり、東側では約8km、北側では約6kmの範囲に降りました。

これらの噴火による噴出物量は約12,000トンと推定されています。

現在の雌阿寒岳は、火山性地震が時折増えることがあり、また、火口からは活発な噴気が見られます。



ポンマチネシリ96-1火口



ポンマチネシリ赤沼火口